

イチジク（果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる）

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期（回数）	使用回数	ゆめ促進	疫病	株病	黒葉病	白紋羽病	黒かび病	さび病	そうか病
I Cボルドー66DFL	無機	M1		-	-			◎					
Zボルドー水	無機	M1		-	-		◎						
コサイド3000DF	無機	M1		-	-		◎						
アンビルFL	DM I	3		1	2							◎	
オンリーワンFL	DM I	3		*b	3			◎					
トリフミン水	DM I	3		1	3							◎	◎
				1	4			◎					
ラリー水	DM I	3		1	4							◎	
アミスター10FL	Q o I	11		1	3		◎		◎			◎	◎
フルーツセイバーFL	アミド	7		1	3							◎	
レーバスFL	アミド	40		1	3		◎						
ロブラール500アクアFL	ジ ^レ カルボキシ ^ミ ト ^ド	2		3	3						◎		
トップジンM水	ベンゾ ^ミ イタ ^ゾ ール	1		7	5			◎		◎			◎
				1	6			◎					
トップジンMペースト	ベンゾ ^ミ イタ ^ゾ ール	1		*a	3	◎							
ベンレート水	ベンゾ ^ミ イタ ^ゾ ール	1		30	5			◎					
キノンドーFL	有機銅	M1		60	3								◎
ダコニール1000FL	他	M5		1	2		◎		◎		◎	◎	
デランFL	他	M9	劇	75	3								◎
フロンサイドSC	他	29		30	1					◎			
ライメイFL	他	21		1	3		◎						
ランマンFL	他	21		1	3		◎						

*a: 剪定整枝時、病患部削り取り直後及び病枝切除後

*b: 生育期(但し収穫前日まで)

イチジク (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア ブ ラ ム シ	ア ザ ミ ウ マ	カ イ ガ ラ ム シ	シ ョ ウ ジ ョ ウ バ エ	ヨ ト ウ ム	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	イ チ ジ ク ヒ ト リ モ ド キ	ア イ ノ キ ク イ ム シ	カ ミ キ リ ム シ	キ ボ シ カ ミ キ リ	ハ ダ ニ	イ チ ジ ク モ ン サ ビ ダ ニ	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ	
																			*a
スピノエース顆水	ｽﾋﾞﾉｼﾝ	5		1	1		◎												
コロマイト水	ｸﾞﾙﾌﾞｲﾄ	6		1	1												◎		
コロマイト乳	ｸﾞﾙﾌﾞｲﾄ	6		1	1												◎		
パストリア水	微生物	-		*a	-														◎
				*b	-														◎
バイオセーフ	天敵生物	-		*c	-											幼			
サンクリスタル乳	天然物由来	-		1	-												◎		
アブロードFL	I G R	16		14	2			幼											
ネマトリンエース粒	殺線虫	1B		60	1														◎
ネマモール乳	殺線虫	8A	劇	14	2														◎
サンマイト水	殺ダニ	21A	劇	45	1														◎ ◎
スターマイトFL	殺ダニ	25A		1	1														◎ ◎
ダニコングFL	殺ダニ	25B		1	1														◎ ◎
ダニサラバFL	殺ダニ	25A		1	2														◎ ◎
ダニトロンFL	殺ダニ	21A		3	1														◎ ◎
ニッソラン水	殺ダニ	10A		1	2														◎ ◎
バロックFL	殺ダニ	10B		1	1														◎ ◎
ピラニカ水	殺ダニ	21A	劇	7	1														◎ ◎
マイトコーネFL	殺ダニ	20D		1	1														◎ ◎
エクシレルSE	ジアミド	28		14	2		◎												
ディアナWDG	ｽﾋﾞﾉｼﾝ	5		1	2		◎		◎										
アクタラ顆溶	ﾈｯｺﾅｲﾄ	4A		1	2		◎												
ダントツ溶	ﾈｯｺﾅｲﾄ	4A		3	3		◎								◎ ◎				
モスピラン顆溶	ﾈｯｺﾅｲﾄ	4A	劇	1	3		◎ ◎				◎				◎				
アーデント水	ﾋﾞﾞｰｽﾛｲﾄ	3A		1	2	◎			◎ ◎ ◎										◎
アディオン乳	ﾋﾞﾞｰｽﾛｲﾄ	3A		1	2	◎ ◎					◎								
園芸用キンチョールE	ﾋﾞﾞｰｽﾛｲﾄ	3A		1	2										ク				
スカウトFL	ﾋﾞﾞｰｽﾛｲﾄ	3A	劇	1	3		◎												
オルトラン水	有機リン	1B		45	1		◎												
ガットサイドS乳	有機リン	1B		*d	3									◎		◎			
				*e										◎					
ジェイエース溶	有機リン	1B		45	1		◎												
コテツFL	他	13	劇	1	2		ヒ		◎										カ
アブロードエースFL	殺ダニ・IGR	21A・ 16		14	1			◎											

*a:生育期 *b:定植前 *c:産卵期～幼虫食入期 *d:4～7月(但し収穫7日前まで)

*e:4～9月(但し収穫7日前まで)

カ:カンザワハダニ ク:クワカミキリ ヒ:ヒラズハナアザミウマ

幼:幼虫

イチジク

イチジク（果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる）

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
疫病		1. 株元周辺をワラ等でマルチする。 2. 発病果実は速やかに除去する。	梅雨期～収穫期にかけて発生する。
	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 Zボルドー(水) 1000倍 ダコニール1000(FL) 2000倍 ランマンフロアブル 2000倍	
黒かび病	生育期	1. 発病果実を速やかに除去する。 2. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 トップジンM水和剤 1000～1500倍 ロブラール500アクア(FL) 1000倍	
アザミウマ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 スカウトフロアブル 2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000倍	
カイガラムシ類		・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アブロードフロアブル 1000倍	
カミキリムシ類 (キボシカミキリ・クワカミキリ)	成虫発生期 生育期	1. 園全体をネットで覆い、成虫の侵入を阻止する。内部で発生した成虫は捕殺する。 2. 成虫発生初期 ¹ にバイオリサ・カミキリ [*] を樹に架ける。使用方法はラベルをよく読むこと。 3. 発生を見たら次の薬剤を塗布する。 ガットサイドS ^{#2} 原液を株元から結果母枝まで塗布する。 4. 発生を見たら次の薬剤を使用する。 園芸用キンチョールE ^{#3} クワカミキリ食入部にフズルを差し込み、薬剤が食入部から流出するまで噴射する。	*果樹類での登録 ^{#1} キボシカミキリの発生時期は6月から10月、クワカミキリは6月から9月である。 ^{#2} クワカミキリの産卵痕に塗布すると効果的である。 ^{#3} クワカミキリで登録園芸用のため小規模栽培向き。
ハダニ類		・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 サンマイト水和剤 1000～1500倍 ダニトロンフロアブル 1000～2000倍 マイトコーネフロアブル 1000倍	
その他の病害虫		イチジクヒトリモドキ、ゴマダラカミキリ	